

<第 29 回国土交通省管理職ユニオン定期全国大会 開催される！>

全国から31名参加！

活動の総括と運動方針を議論



大枝委員長挨拶

□委員長挨拶

冒頭、委員長は大会参加等の感謝を述べた後「管理職ユニオンは今年で29年目を迎えた。「職責に相

国土交通省管理職ユニオンは、五月二三日（土）に第二九回定期全国大会を大阪市で開催しました。参加者は代議員、役員等の31名で、この1年間の活動の総括と、今後の運動方針について、活発な議論を行い、全会一致で確認されました。

応しい処遇」「退職後の安定した生活」「仕事に誇りが持てる」「国交省と公共事業が国民にとって不可欠な存在となること」という4つの目標を掲げ、要求実現に向け活動を積み重ねてきた。私たちの運動は、事務所課長や出張所長の6C昇格をはじめとする昇格改善や管理職特別勤務手当の改善、地方整備局の定員増、さらに管理職などの俸給改善も不十分ながら見直されるなど、多くの要求を勝ち取ってきた。

No.399
2026 年 8 月 27 日

【発行】
国土交通省管理職ユニオン

【所在地】
東京都千代田区
霞ヶ関2-1-2 中央
合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138

【Email】
k-union@aloha.ocn.ne.jp

【ホームページ】
<http://www.k-unionnetwork/>

□私たちを取り巻く情勢について

全国の代議員等から下記の意見等がありました。

『暫定予算問題について、河川改修予算がなく、落札が出来ないなど混乱する場面があった。事業系も積み上げたはずが、維持系しか予算が付かなかった。4月1日に地震があり、点検業務等で混乱する場面があった。』

『給与の逆転現象について、若手職員から本当にあるのか尋ねられた。それを聞き、若手職員は管理職にはなりたくないと言っていた。管理職

更なる要求実現のためには、組織拡大が必要不可欠であるため、組織拡大強化を呼びかけたい。』と挨拶されました。



討議の状況

になったから、超勤手当がつかなくなるのはおかしい。防災業務について、24時間交替で対応している。12時間交替で対応出来る体制が必要である』

（裏面につづく）

管理職の処遇改善に頑張ります！
ご協力よろしくお願いします。
＜2026年度 執行体制＞

役職	氏名	支部
委員長	大枝 千晋	近畿
副委員長	安藤 浩照	中部
副委員長	加藤 正己	近畿
副委員長	白井 宏樹	地理
事務局長	南谷 達也	北陸
事務局次長	星野 豊	関東
執行委員	葛西 健司	東北
執行委員	小林 治	関東
執行委員	末永 敦	中国
執行委員	土居 寛幸	四国
執行委員	興梠 逸郎	九州
会計監査	笠原 祥一	関東
会計監査	中野 はつ子	中部
事務局員	上林 喜美夫	関東
事務局員	山本 健二	近畿

（表面よりつつく）
『旧建設省では管理職を指定されているポストが他省庁と比べてものすごく多い。労働組合対策として管理職を多くしたという経緯もある。逆転現象について、給与が逆転するほど超勤をする必要があるということが問題。』
『管理職は部下が多いと業務も多くなる。部下が少なくなるよう、課長

ポストを増やすことも必要ではないか。』
□**処遇改善に向けた運動について**
『6級の定数があまっているのは、6級になれる対象者が減ってきているのが原因。課長とか出張所長とかが減ってきている。』

□**災害体制の充実**
『宿舎の隣に操作室が

ある職場がある。場合によってはダムまでいく必要がある。雨が降りそうになればお酒も飲めなくなる。近くに何も無いような所に宿舎を指定され、時間も不定期なので、自衛隊の様に宿舎費を無料でも良いのではないか。』
『単身赴任が多い事務所、幹部は持ち回りで宿舎から遠くに行かない様、休日を拘束してい

る。』

□職場の課題

『一人出張所問題について、組織上一人ではないが、実質一人のところはある。四国では、出勤出来なくなった係員などを出張所に配置しているところもある。調査系などの係員を付けているところもある。』
『中部でも実質一人出張所がいくつもある。』
『一人出張所のカウンターの仕方により変わってくるが、一人出張所は北陸と中国のみ。その他の地整は組織上複数だが、実質一人出張所が多数ある。』

□交渉・会見関係

『当局との交渉ときにICレコーダーを使えないか。業務のときはきちっと相手にその内容

を確認するなど、お互い確認して作成している。

□その他

『当局は採用を増やしているが、職種に関係無く採用している。結果的に管理職の業務が増えている。』
『今の幹部はブレイングマネージャーになっている。管理職が業務の全てを実施している。』



団結ガンバロー